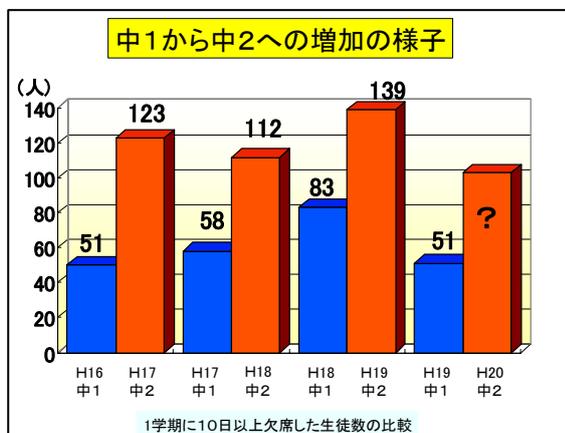


高知市の特徴“中2ギャップ”を防ぐかかわいを ～ 調査結果からみたこれからの不登校支援のポイント ～



高知市では全国的な傾向である中1ギャップ（小6から中1にかけて不登校が大幅に増加する）ではなく、中2ギャップ（中1から中2にかけて不登校が大幅に増加する）という特徴が見られます。

左のグラフは過去4年間に中1から中2にかけて、1学期末に10日以上欠席した生徒の増加の様子を表したものです。中学校での取り組みが功を奏し、年々増加率は低くなっていますが、他の学年に比べるとやはり高くなっています。

子どもたちはどのようなきっかけで休み始めているのでしょうか？



授業がわからなくなる クラスの雰囲気がいや
親との関係 友だちとの関係 先生との関係
部活動での悩み 進路に対する不安
思春期の不安定さ 先輩との関係など..

「楽しい学校生活を送るためのアンケートQ-U」は 子どもの苦戦を知るヒントになります！！



昨年度、高知市立小・中学校から寄せられたQ-Uの実施に関する成果には次のようなものがありました。

- ① 学級の課題や傾向を知り、学級経営・授業改善を考えるうえで役立った。
- ② 全校で状況分析を共有、校内研修で事例研究を行い効果があった。
- ③ 子どもの内面理解や気づきが大きかった。
- ④ 年間2回の実施により意識的な指導ができた。
- ⑤ 気になる子どもへの対応が早期に適切にできた。
- ⑥ 支援会議の有効な資料となり、具体的な改善策、手だてを講じることができた。

「楽しい学校生活を送るためのアンケートQ-U」は、子どもの本音が書かれている子どもの情報の宝庫です。ぜひ、有効に活用してください。

子どもの気持ちや苦戦を知る

子どもと3分間面談を実施

具体的に支援できることを考える